

～討議ワークシート 参加者記入内容～

注：書名について、そうではないかと思われる本を掲載いたしました。

間違い等は修正いたしますので、ご連絡ください。（学校図書館問題研究会 東京支部）

テーマ1 自分の学校の蔵書を考えて、手薄のところはどんなところか？

| NO. | | 自分の考えや方法など |
|-----|-----------|---|
| 1 | 兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫、動物、生物の図鑑などは各出版社が揃えている。実験、工作や、授業で使える本は、先生に一度確認してもらってから購入する。 ・昨年は理科の先生が図書館をよく使って下さったので、足りない分野の本は授業後、補充するようにしていた。 ・子どもの興味、関心を引き出す本は、どのようにして、自分が見つけだせるか？ 日常の子どもの興味に耳をかたむけることも大切である。 |
| 2 | 熊本 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年から4類の蔵書が少ない学校に赴任したので、必要な本を揃えるのにとまどっている。 |
| 3 | 熊本 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・4類は、動物・昆虫がとても多い。 ・選ぶのがとてもむずかしいと思う。 |
| 4 | 熊本 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが要求した本は予算のゆるす範囲で購入してやりたい。 |
| 5 | 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算で必要な本を購入することの難しさ。 ・天体・星についての本が少ない。 ・実験についての資料やCD-ROM 付きの資料の扱い方（紛失しやすい）。 ・年間教育計画を出してもらい、そこから必要な本を予想してリストにする。リストを図書館担当や理科担当に見てもらい、必要がどうかを判断してもらっている。 ・児童も先生も使える本をそろえることが大切。 |
| 6 | 滋賀 | <ul style="list-style-type: none"> ・物理・化学が手薄→自身の苦手意識が反映されている？ |
| 7 | 熊本 中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・科学読み物は全体的に古いので、どこから増やしていいのか悩んでいる。 ・理科の授業であまり利用されない。 ・ブックトークをしに行くなど、自分から動き、巻きこんでいくことが大切！ ・新しく発見されたこと（羽毛恐竜とか）から購入すればいいのではと考えている。 |
| 8 | 岡山 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自校の蔵書を豊かにするにはー図書館費用少ない学校では、偏りが出てもまず、先生からのリクエストや調べ学習の本を優先して入れる。揃ってきたら子どものリクエスト本も入れる。 ・4類は苦手な分野だが、ある程度理科について知ったり勉強したりして理系の本を見る目（判断・評価する）を養うことが必要なのかもしれないと思っている。 ・子どもの達成感・充足感を満たすために、小学生向けにこだわらず一般の本もよく選書した上で購入していく必要がある。 |

テーマ1 自分の学校の蔵書を考えて、手薄のところはどんなところか？

| NO. | | 自分の考えや方法など |
|-----|-----------|--|
| 9 | 福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校性学年向けの本—絵本やかがくのとも等雑誌で提供できる場合もあるが、分野によっては難しいことも。 ・図鑑のDVDが増えてきた。NEO(小学館)、ニューワイド(学研教育出版)は、貸出用に小さい版を購入。 ・高校に理数系科がある地域なので理科本で30万円予算があるが、高校生向けの実験資料がなかなかない。値引率により入札して注文書店を決定している。 ・書店に注文、校内で選書会議し学期ごとに3社の書店にふりわけ、ブックキャラバンで見計らいして選書。 |
| 10 | 大阪 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・システムから分類別の蔵書冊数を出し、足りない分野の本を受け入れるようにつとめているが、調べ中心の本を受け入れるので、4類でも偏りがあるのが難点。 ・読み物(9類)が苦手な児童にも興味を持ってもらえる本を探す。 ・調べ学習には図書館をあまり使わないようだ。教科書にある本が少ない！ ・年間計画に沿って4類の購入計画を立てている。 |
| 11 | 熊本 中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・全般的に新しい本が少ない。 ・科学の読み物が少ない。 ・生徒の希望(アンケート)。 ・先生の希望(アンケート、書店さんから持ってきてもらった本の見本から話を広げる)→かたよりがでる(デメリット)。 |
| 12 | 大分 | <ul style="list-style-type: none"> ・4類は古い物が多く、買替時期になっているので、DVD付きの図鑑も入れたい。 |
| 13 | 大阪 | <ul style="list-style-type: none"> ・「サメ」についての本が児童書には少なく、高価な本が多い。 ・購入のタイミングをどうすべきか悩んでいる。 |
| 14 | 熊本 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書率を参考にしている。 ・授業に役立つ資料から揃えている。 |

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・蔵書を構成するとき、「今年は『天気』の分野の本を買う」などと知らせながら計画するとよい。
- ・小学5年生 1学期 理科 天気の学習時に『[森田さんのおもしろ天気予報](#)』（森田正光著・ポプラ社）などを使ってブックトークをして好評。後から、苦手意識が低下したなどの生徒の反応があった。
- ・「授業の時に少し時間をください」とお願いし、ブックトークを行う。(10～15分)
- ・子どもが興味をもった時が大事！！すぐ調べたい。すぐ知りたい、を大切に。
- ・中・高でも小学生向けの本が使える。
- ・予算があれば、子どもの要求にこたえたい。

～討議ワークシート 参加者記入内容～

テーマ1 自分の学校の蔵書を考えて、手薄のところはどんなところか？

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・大きい書店に実際に行って、本を見て選ぶ。
- ・4類はどこの図書館も少ないようである。
- ・専科の先生がいるなら、おすすめを聞いてみる→ただし、理科の先生も、児童書向けの本に詳しくないことが多いため、難しい本を選ばれてしまうこともある。
- ・理科専科の先生に『りかぼん』を見せて、選書してもらう。
- ・[ニューワイド学研の図鑑](#)は、文庫サイズの図鑑が出ているので、そちらを貸出用にする。
- ・小学校でも一般書を活用できる。
 - 『[日本産幼虫図鑑](#)』（学研教育出版：税抜¥18,000）金額は高いが詳細に載っていて、結構使われる。
 - 『[サメ](#)』（中野秀樹/石垣幸二著・笠倉出版社）、『[サメ大図鑑](#)』（田中彰監修・PHP 研究所）
- ・身近な疑問を解決していくための本選び→[ガリレオ工房の本](#)が好きな子が多い。
- ・CD-ROM 付き資料がよく出版されているが、貸出のときは紛失することもあるので CD を抜いて貸出する。授業で使われていることが多い。
- ・司書自身に自然科学分野の勉強不足、苦手意識がある。苦手なところに入りこんでまず自分が学ぶ。
- ・高校用の実験の本が少ない。
- ・教員とコミュニケーションすることで良書に出会えるのでは？
- ・生物の本：生物の本は内容が変わりにくいから高価でも買うべき、多少古くても OK。しかし…
- ・[文一総合出版シリーズ](#)（『イモムシハンドブック』など）が使える。
- ・あえて情報を出しおしみることで教諭の気をひく（実際に見に来てもらう）テクニックも。
 - 「『よい本』入れたんですよ。」
- ・こどもからはイラストよりも写真がいい！と言われることも。しかし、調べてまとめて描き写す時はイラストの方が良い。
- ・蔵書をどう増やしていくか
 - 先生から依頼された分を優先していると、そうでないジャンルの本が手薄になる。
 - 「観察や実験ができないものを図書館で見よう」となるので、片寄り仕方がない面もある。
 - 「天気」「人体」の蔵書は厚くなるが、調べ学習に使われない実験・観察対象の分野は薄いまま。
 - また、次年度以降使われないこともある。
 - シリーズを一度に買うか、1冊ずつ検討していくか。
 - 環境・平和はよくとりあげられるが、理科はなかなか取り上げられない。
- ・両生類・は虫類の飼い方：一般書をいれたら大人気。児童書には少ない。
- ・『[理科年表](#)』（国立天文台編・丸善出版）：毎年買ってない。買い忘れも。
- ・4類は高価な本が多いので、手軽な本を受け入れるようにしている。
- ・選書委員会→学期毎
- ・選書： 司書 → 管理職、選書委員会 → OK → 書店<1～3社
- ・少数意見の本を購入するかどうか、できるだけ子どもの意見を尊重する。→一般書を買うことも。

～討議ワークシート 参加者記入内容～

テーマ2 出版社に理科やかがくの本を作ってもらったら、どんな本がいい？

| NO. | | 自分の考えや方法など |
|-----|----------|--|
| 15 | 熊本 | ・大人向けの辞典や図鑑が使えるようになるような、中間段階の本が必要。 |
| 16 | 熊本・公共図書館 | ・公共図書館にいと、学校からの団体貸出の依頼をうけることがある。 ・テーマにそって一冊にまとまっている本がほしい。 ・化学、物理関係の本や公害の本が少ない。 |
| 17 | 出版社 | ・書き手を探するのが難しい(やさしい物理、化学の本)。 |
| 18 | 岡山 | ・ SBクリエイティブ:サイエンス・アイ新書 は中学生にも向いている。 ・中学・高校生に、きっかけとなるような本を読ませたい。 |
| 19 | 岡山小学校 | ・科学のおもしろさを伝える本／授業に役立つ本＝融合した本とは。単独なのか ・Q&A だけで終わらない本＝小3 国語「本でしらべて」に使える。 |
| 20 | 出版社 | ・科学、生物の本を増やしたい。 |
| 21 | 長野 | ・子ども向けの化学・物理の本を作ってほしい。 |
| 22 | 鹿児島小学校 | ・とんぼ ・昆虫の飼い方の本はあるが、昆虫がどういところにいるのか、つかまえ方は、 ということ詳しく書いてあるものが欲しい。 ・必ず目次、索引のあるもの ・火山——小学校低学年が理解できてバラエティにとんでいる |
| 23 | 千葉小学校 | ・小学校低学年の国語で、生き物を調べてわかったことをまとめ伝える単元があるので、低学年にもわかるように書かれた生き物観察本(この頃すいぶん増えてきたが)。 |
| 24 | 熊本小学校 | ・人体に関するもの、母体内の成長に関するもの(実験、観察がむずかしい内容、調べ学習に頼る内容) ・身近な科学を追究する(不思議で終わらず理屈も)→《板倉聖宣さんの書いた本 [著書紹介ページ] でもっとおもしろいもの》これはいい ・プロの視点で見た身近な自然 |
| 25 | 東京 | ・目次、索引が不十分だったり、使いにくかったりするものがある。 ・中くらいのレベルのものがよい |

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・図鑑、辞典は自分で目次や索引をひいてみて、ひきにくいことに気付く。
- ・図鑑が引けない—目次・索引が本によって違いすぎる—目次・索引がない本もある。
- ・目次・索引のない本はありえない。
- ・自館の図書館にも、中間レベルの図鑑はないことに気付いた。
- ・夏休みの行事に使えるような本がほしい ちりめん？にぼし的な？

付記) 『[チリメンモンスターをさがせ!](#)』(日下部敬之他監修・偕成社) のことか？

～討議ワークシート 参加者記入内容～

テーマ2 出版社に理科やかがくの本を作ってもらったら、どんな本がいい？

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・児童向けの公害の本が少ない。
- ・洪水、火山の本がない。
- ・洪水の危険をうったえる紙芝居について発言したところ、[赤木かん子先生](#)に伝えてみては、という具体的なアドバイスをいただけてありがたかった。
- ・洪水の紙しばいが少ない。→書ける人がいないのが実情。
- ・中学生が手軽に読める本。→書ける人がいないのが実情。
- ・出版社の方をまじえてお話しできたことで参考になった。
- ・難しい内容をやさしく書ける人や、中くらいのレベルで書ける人がいないということ、出版社の方から聞いたのが印象的でした。
- ・用語が難しい：レベルは上げたいけれど。
- ・やはり教科書を互いに読みこんで、意見をあげられるようにしたい。
- ・高校理科→調べ学習で図書を使う。
植物検索図鑑で高校生が使えるものがないため、高校生のレベルに合った内容のものがほしい。
- ・小学校→低学年が読んでわかりやすい科学読み物、少し詳しい自然観察絵本。
写真より絵で描かれたものは使いやすい。
- ・中高生向け、小学生向け 共に物理、化学／科学の本が弱い。
- ・[SBクリエイティブ：サイエンス・アイ新書](#)
- ・胎児系（*入力者注：判読間違いかもしれません）の本が作りたい。
- ・人の成長の本 →理科…受精卵からの成長、それ以前は違う分野。
- ・調べる本と子どもが読んでおもしろい本がマッチングするとよい。
- ・ラノベのように読める理科の本。
- ・看護師、医師になる人ー高校で生物や化学を学ばない＝基礎を知らずに暗記で大学に入る。
- ・小学校の理科では図書室が使われない。
- ・自由研究をキッカケに。

テーマ3 理科やかがくの本の情報の入手方法はどしている？

| NO. | | 自分の考えや方法など |
|-----|----|---|
| 26 | 兵庫 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科で使う本→科学の好奇心を育てる本 の順で購入。 ・フェア ・司書の情報交換 |
| 27 | 岡山 | <ul style="list-style-type: none"> ・虫の飼い方の本、科学の本は子どもも好きだし、授業でも使われる。 ・理科の本を充実させたいが、予算のこともあるので、効率よく収集したい。 ・本のカatalog、出版社 HP などで子どもの興味のある本にあたりをつけて、公立図書館で実物を見て買う方法をとっている。 |

テーマ3 理科やかがくの本の情報の入手方法はどしている？

| NO. | | 自分の考えや方法など |
|-----|------------------|---|
| 28 | 岡山 | <ul style="list-style-type: none"> ・書評誌、出版社のサイトを見る。 ・実物を見る(公共図書館で実際に借りて読む)。 ・判断がつかない時には司書教諭や理科の先生に判断をあおぐ。 |
| 29 | 熊本 | <ul style="list-style-type: none"> ・『週刊新刊全点案内』(株式会社図書館流通センター) ・子どもの本ブックフェア(株式会社 トーハン) ・見はからい |
| 30 | 岡山 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書に沿って関連した本 ・生活の中から興味関心を引き出せる本 ・話題になった自然現象的な本 |
| 31 | 岡山 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に紹介されているものー国語の科学読物 |
| 32 | 滋賀 高校 | <ul style="list-style-type: none"> ・文系出身のため、理数系の本をどう選んだらよいかいつも困ります。 ・NEWTON ムック:カラーページが多く、分かりやすい図解があるので信用。 |
| 33 | 岡山 | <ul style="list-style-type: none"> ・出版社からの目録やパンフレット ・新聞などで紹介されたもの ・教員からのリクエスト ・他校の司書との情報交換 |
| 34 | 東京 | <ul style="list-style-type: none"> ・出版社からの出版情報。『りかぼん』などのツールにたよってしまうのが現状。 ・優良図書展、公共図書館等に出かけて現物を見ることも。 ・理科専科教員との連携を取っていきたい。 |
| 35 | 長野 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤木かん子さんの本を参考にしている。 ・SLBA(一般社団法人学校図書館図書整備協会)の冊子。インターネット。 ・図書館の新着本をチェックする。 |
| 36 | 愛知 中学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・読まない生徒と読む生徒の差があり、興味を持ってもらうために、ジャンルの幅を広げることも含め、科学読み物をすすめていきたい。 |
| 37 | 鹿児島 公共図 書館 | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に科学館へ行くなどして情報を入れる。 ・本屋さんに実際に行って選ぶ。→表紙は良いが、物によっては中の写真が・・・ ・詳しい人に聞く。 ・科学的の物は、大人向けの物の方が良い物がある。 ・大人向け→分かるように大人が説明するという方法を取っている。 ・赤木かん子さんのBOOKリスト・HP |
| 38 | 東京 小学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、ブックフェア ・科学読物研究会から情報入手。 ・内容を見て本は購入したい。 ・セミの観察会・星空観察会 |

～討議ワークシート 参加者記入内容～

テーマ3 理科やかがくの本の情報の入手方法はどしている？

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・新しい情報をどのように仕入れるの？多くの資料から選ぶには？情報をどのようにしているかという悩みは多くの方がもっているのだと思いました。
- ・少ない予算で、本が余り買えない（小学校） アイディアがあったら教えてほしい。
- ・司書同士のネットワーク。情報交換は本を買う判断基準のひとつにする（やはり生の声は大切）。
- ・新しい情報は、ネットワークを利用して得る。
- ・国語の教科書の科学読み物を買っておく。
- ・科学の本についての例会
- ・悩む時は、公共図書館で実物を見るなど、現物を見てから購入。
- ・新刊全点案内、書評誌だけで選ぶのではなく、現物を見た方が良い。
- ・公立図書館新着本や、出版社新刊案内を参考にする。
- ・写真家のネームバリューで選ぶ。
- ・子どもたちが好きそうなテーマにあたりをつけて購入。
- ・話を聞いていると、公共図書館の本を参考にしてしている学校図書館の司書が多いと思った。県立図書館としては、ブックリスト等で蔵書の発信をしていく必要性も感じた。
- ・公共図書館で子どもが選ぶのは、ビジュアル的な物
- ・[大分県立図書館：科学読物ブックリスト](#)
- ・[科学読物研究会](#)の説明（[本となかよしー自然と科学ー](#)）、[会報『子どもと科学読み物』](#)
- ・[赤木かん子さん](#) 本、ホームページでの紹介本を参考に購入。
- ・[NEWTON ムック](#)
- ・科学系の雑誌は子供（小・中学生）用が少ない？
- ・科学雑誌『[Newton](#)』は、中学で動かないのが悩み。高校も購入。
- ・雑誌『[子どもの科学](#)』（誠文堂新光社）
- ・雑誌『[サンチャイルド ビックサイエンス](#)』（チャイルド本社）
- ・雑誌『[NEWS がわかる](#)』に科学の本が取り上げられている。
- ・自然と科学の情報誌『[mil sil（ミルシル）](#)』（国立科学博物館）
- ・科学技術館の[ホームページ](#)、[メールマガジン](#)
- ・小学生新聞
- ・各出版社の目録・カタログ・ホームページ（→効率的に情報収集）
- ・小学司書 生き物、飼育について、出版社のホームページをチェックしている。
- ・信頼できる出版社、作り手。
- ・誠文堂新光社は、信頼が出来る。
- ・アリス館、童心社、偕成社も力を入れ始めている。
- ・出版社に要望などの手紙を書くとよい（本の質が上がる）。
- ・出版社訪問→出版社もなかなか難しい。
- ・紹介は、噛み砕いて、『[りかぼん 授業で使える理科の本](#)』へいざなう。

～討議ワークシート 参加者記入内容～

テーマ3 理科やかがくの本の情報の入手方法はどうしてる？

※他の人の考えや方法などで印象に残ったこと※

- ・大人の本もビジュアルで読まれるので、子どもの本の棚に置く。ビジュアルも大切。
- ・大人向けの本も混ぜて紹介する。
- ・子どもに少し難しいものも紹介する。
- ・調べ学習に使える本かどうか。目次・索引が使いやすいかをチェックする。
- ・文系なだけに・・・選書が片寄らないか。
- ・中学生の未読者は科学的読み物を紹介することで減る？
- ・索引がないと使いにくい。索引があっても使いにくい物がある。
- ・小学校高学年への手渡し方法
- ・4類、ディスプレイできるように。
- ・索引の載せ方も役立つ表記がある本（「調べ学習に役立つ」と銘打っている本）
- ・本→体験→本につなげている方
- ・図書館行事でセミの羽化・星空観察とは、すごく積極的！本から実体験につなげる活動。